

提出日： 2025 年 4 月 2 日

研究促進期間制度 研究実績報告書

所属学部・研究科	身分	氏名
文	教授	阿部 成樹

研究期間	以下1～4より、取得した研究機関を選択し、該当番号を右欄にご記入ください。	
	1. 2024年4月 1日 ～ 2025年3月31日	1
	2. 2024年9月 1日 ～ 2025年8月31日	
	3. 2024年4月 1日 ～ 2024年9月20日	
	4. 2024年9月21日 ～ 2025年3月31日	
活動報告	研究期間中に実施した研究活動を具体的にご記入ください。 海外活動補助費を受給した方は、海外活動の内容が分かるようにご記入ください。	
	・新たな視点からの新古典主義美術研究に必要な文献(古書を含む)を収集し、読解と分析に着手した。その一部を論文として執筆し、2025 年 3 月刊行の文学部紀要に掲載した。 ・ローマ及びナポリで、関連する美術館・博物館・および古代遺跡等を訪問し、美術作品、建築、遺跡、出土品等の観察と分析を長時間にわたり行った。	
得られた研究成果について	上記の研究活動の結果、得られた研究成果についてご記入ください。	
	・通常の業務期間では得られないまとまった時間を活用し、大部な古典的刊行物にじっくりと取り組むことができ、新たな視点からの新古典主義美術の総体的把握の基礎と見通しをつけることができた。 ・新古典主義美術の形成にとり重要であった古代の遺跡・出土物、古代彫刻・絵画、そしてそれらに刺激を受けて制作された作品を実見し、18世紀人がそこに何を見たかを観察に基づいて考察して貴重な知見を得ることができた。	
今後の計画について	得られた成果を踏まえ、今後どのように研究を発展させる計画か、ご記入ください。	
	新古典主義美術は、18世紀当時の歴史的背景、特に東地中海への植民地主義的な関心の伸長と、美術作品や古代の遺物への資本主義的な興味に支えられて誕生したと考えている。この野心的な意味づけを、今後時間をかけて形にしていきたいと考えている。	